第21回 原子力機構報告会

トークセッション

テーマ『 未来の研究者たちへのメッセージ 』



原子力機構　原子力科学研究所
所長
前田　敏克



原子力機構　原子力科学研究所
ＮＸＲ開発センター
チームリーダー
関根　由莉奈



東京農工大学 工学府
応用化学専攻
西湖　夕希菜　氏



福井南高等学校 3年
世継　真奈美　氏

第21回 原子力機構報告会



西湖（さいこ） 夕希菜（ゆきな） 氏

東京農工大学 工学府
応用化学専攻

同世代やこれからの研究者に伝えたいことは？

JAEAでの夏期実習を通じて、自分の専攻や研究のすぐ隣にも、まだ知らない面白い分野が広がっていると感じました。小さな共通点や「面白そう！」をきっかけに、新しいものを探す探究心を大切にしていきたいです。



世継（よつぎ） 真奈美（まなみ） 氏

福井南高等学校 3年

同世代やこれからの研究者に伝えたいことは？

私は原子力発電のバックエンド、特にクリアランス金属のリサイクル活動を進めています。最近、「伝えることの難しさ」という壁が見えてきました。この点について日ごろ感じていることや今後の展望について言語化できたらと考えています。
ブースも出展します！

あなたにとって研究の魅力は何ですか？(1)
－JAEAの研究者たちより－

未知の現象の「なぜ？」を自分の手で解き明かしていくこと、そしてそれがやがて社会や未来の価値につながっていくこと。

世界中の誰も知らない事を知ることができること。

苦労や失敗の連続だが、試行錯誤を重ね、誰も試したことのない方法で問題を解決し、新しい成果につながったときに、大きな達成感と研究の面白さを感じられること。

新しい考え方を示し、コミュニティに新たな世界観や価値観を持ってもらうこと。

自分のアイデアを形にし試行錯誤を重ねながら、まだ誰も知らないことを自分の手で明らかにしていくこと、そして、それが新しい技術や価値につながっていくこと。

新たな発見やインスピレーションが得られた瞬間の充実感と高揚感。

「わからない」ことを、自分の知識や工夫によって「わかる」ことにしていくこと。
想定通りにうまくいかないことも多いが、その反面、うまくいった時や謎が解けた時の喜びは非常に大きい。

あなたにとって研究の魅力は何ですか？(2)
－JAEAの研究者たちより－

何ができるかに限界がない。決まった答えがなく、自由な発想で追究できる。

自らの興味やアイディアに基づき、自由な方法で真実を追求できる道であり、研究は私の人生の生きがい。

真実の前には、年齢も地位も関係ない。良いアイディア、良い結果が出れば、誰でもヒーローになれる。

やはり何と言っても「これまでわからなかったことがわかる」ことに尽きる。

科学的な真理に自然の美しさを感じるとともに、そこへ至る発想や論理、実験の組み立てにも、作品のような美しさを感じられること。

「なぜこうなるんだろう？」を、自分が納得するまで考えられること。物質の中で起きているダイナミクスを、自分の発想で追いかけられること。なかなか思い通りにはいかないけど。

最先端の「分からないこと」を「分かること」に還元していくプロセスが好き。これまでに培われてきた膨大な知見と、自分のスキルをいかに組み合わせるか、戦略を立てて考える楽しさがある。

未来の研究者たちへのメッセージ(1)
－JAEAの研究者たちより－

未来の価値はみなさんの小さな「なぜ？」から始まります。好奇心を大切に、分野の境界を越えた先に新しい発見があります。

知識は使うと増える唯一の資源です！

失敗から学び、試行錯誤を重ねた先に新しい発見があります。失敗を恐れず、自分の可能性を信じて挑戦し続けてください。

やると決めたら、最後までやりきることが大事だと思います。このため、自身が取り組む研究の魅力や重要性をアピールしていくことが大切だと思います。

失敗を恐れず、自分が面白いと思ったことに挑戦し続けてください。その先に新しい発見があると思います。

研究を続けていると、いつか「あ、わかった」と思える瞬間が訪れます。それがどんなに小さなことでも、それは人類初であり、その知見を前に進めた瞬間なのです。

あなたが持っている知識や発想は必ず役に立ちます。自分の得意を増やし深めること、そして色々な人と協力していくことで、できることの幅が広がり、研究がどんどん面白くなっていくと思っています。

未来の研究者たちへのメッセージ(2)
－JAEAの研究者たちより－

とにかく研究を楽しんでほしいです。研究や実験が得意な人、好きな人でも楽しんでいる人には敵いません。

長期にわたる努力が必要ですが、新しい世界や未来が見えてきて、自分の興味のある研究を進めることが可能です。ぜひ研究者を目指してください。

宇宙進出時代、AIシンギュラリティ時代の先を切り拓いてください。頼みます。次の時代の常識で育つ世代には、それを乗り越える力がきっとあります。

とにかく成果を出さなくては、というプレッシャーに負けると研究不正などが起きます。
どうか誠実に研究をしてください。

科学的な真理に至る道筋には研究者の個性が現れます。自分なりの問い方、考え方、確かめ方で研究を大いに楽しんでください。

「なぜ？」と思う好奇心は、人それぞれ違うもの。その疑問を自分なりに追いかけて、一緒に世界を「おっ」と思わせることができたら、と思います。

色んな人のアイデアが合わさることで、思いもよらない方向に発展するのが研究の面白いところです。
ぜひ一緒に新しい世界を切り拓いていきましょう！